

戦評：

東濃実業・可児工業のセンターパスにより試合が開始された。東実・可工は3分と9分にPCを獲得するが名張青峰の堅い守備により得点には至らない。その後一進一退の攻防が続くが、互いにチャンスをつくることができず、0 - 0で第1Qが終了。
 第2Qに入り、両チーム果敢に攻め込むも、得点に繋げることができない。名張青峰が猛攻を仕掛けるも東実・可工の粘り強い守備により得点には至らず、0 - 0で前半戦が終了した。
 第3Qに入り開始早々、東実・可工#10岩崎がヒットシュートを放つも名張青峰GK#1岡本が好セーブを見せる。31分、名張青峰#8伊山にグリーンカードが出される。32分、東実・可工がPCを獲得。#6平岡がヒットシュートを放つも名張青峰の堅い守備により得点には至らない。35分、名張青峰がPCを獲得するも東実・可工の守備陣に阻まれる。両者果敢に攻め込むも得点には至らず、0 - 0で第3Qが終了した。
 第4Qに入り開始早々、名張青峰#5鈴木のセントリングに#10池之上が合わせるも東実・可工GK#1馬場が好セーブを見せる。51分、55分と東実・可工がPCを獲得するも得点には至らない。58分、東実・可工がPCを獲得し、#6平岡がヒットシュートを放つも枠を外れ、0 - 0でSO戦へ。2 - 1で名張青峰が勝利し全国高等学校選抜ホッケー大会への出場権を獲得した。

SO戦 【結果：○ = ゴール、× = ノーゴール、※ PSは備考欄へ記入】

チーム名	攻守	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
三重県立名張青峰高等学校	先・後	攻撃者No.	2	7	6	5	3											2
		結果	X	X	○	X	○											

守備者No.	1	1	1	1	1													
--------	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

東濃実業・可児工業高等学校	先・後	攻撃者No.	6	8	10	2	9											1
		結果	X	X	X	○	X											

守備者No.	1	1	1	1	1													
--------	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--